当初建物名

福島県尋常師範学校(引継•監督

(工事)

栗子橋(監督)

安達郡役所

若松監獄所

岩瀬郡役所

岩瀬郡会議事堂

金透小学校二階建校舎

藤橋

福島県尋常中学校磐城分校

福島県尋常中学校本館増築

福島県第二尋常中学校

日本赤十字社福島支部

大日本武徳会福島支部武徳殿

吹屋小学校校舎調査報告書)

本宮町立小学校

須賀川橋

幸平橋 私立会津中学校

只見川

信夫橋

小野川橋

田村郡役所

大沼郡役所

福島県会議事堂

中村町中学校

伊佐須美神社

東白川郡役所

河沼郡役所

河沼警察署

種馬飼育所

高等女学校

林区署

=網掛け

1889

1889

1889

1891

1891 1892

1892

1893

1894

1894

1895

1896 1896

189

1897

1899

1902

1898

1900

1899

1899

1901

1901

1901

1901

1901

1902

1902 1902

1902

(出典:高梁市立

体まで発足されてフェイ スブックでの紹介や作品

はないか。

川三郎八研究会なる団

との交流もあるというで 若松市や伊達市の関係者

りである。

八」とまで崇められ、

所在地(当時) 建設年

福島市

本松町

若松市

須賀川村

須賀川村

須賀川村 芹草村

郡山市

福島市

三春町

会津高田町

福島市

平町

中村町

会津高田町

棚倉町

会津坂下町

会津坂下町

若松市

本宮町

福島市

福島市

若松市

福島市

根拠=金透小学校のみ「菅野•佐藤『日本の学校建築』(文

ュース社)、ほかは『生ひ立ち之記』

福島県はじめ建築関係団

体で構成された福島県歴

## 江川三郎八を ご存じないですか?

県建築安全機構副理事長





の設立からはや6年目と も5回を重ね100人ほ 協議会は、平成25年5月 **发的建造物保全活用促進 ばりヘリテージマネージ** 

·用推進員)育成講習会

(歴史的建造物保全

載されている「設計者の

亀岡邸前の銘板に記

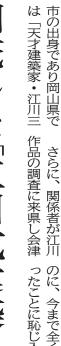
王寺薬師堂などに携わっ

旅館、花水館奥の間、 に飯坂温泉のなかむらや 郎については、このほか だが、棟梁の小笠原國大

たことは知っていたもの

については全く不明であ

福島県技手・江川三郎で



に文化財の見学として この講習会カリキュラ

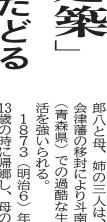
で検索すると、会津若松

れている。

何とも気になりネット

展、セミナーなどが行わ

重要文化財の伊達市亀



年

価され、判任官の技手に

須賀川橋の設計実績が評

891 (明治24)

年には

1902 (明治35) 年

述に『自分(当主・亀岡

夫橋の設計に携わる。1

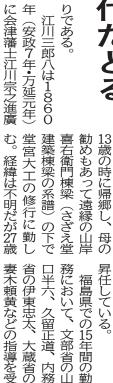
小野川橋、

活動は広範にわた

録される際、「冊子『洋

風農家かめおか』での記

佐須美神社等その





間に建設され、そ 殿は、県庁と板倉

まちかど郷土館)などの

ィンバーでアクセントを

筋交い上のハーフテ

総社警察署(現・総社市 都窪郡役所 (倉敷町)、

れた後に再度、元

や工事監督を担ったほ

数多くの公共施設の設計

か、岡山県下の教育施設

信夫山護国神社に

云武徳殿のみで亀岡邸の

たので、県議会議事堂や

ーマーウィンドウを置 本とする。大屋根にはド

、牧温泉に再移築さ

わった。

折があって、会津

や医療施設の建築にも携

に移築されるなど



(明治

も年月日も記載が無く、

当時の図面は設計者名

した本部の再建に尽力。 託技師となり、火災消失

天満屋旧本館などの商業

なっているとの情報もあ れ、現在は旅館仙峡閣に

職後は金光教団本部の嘱

64歳で県職員を依願退

なかなか確信に至らな

(上から) 会津中学校、金透小学校、 本宮小学校、福島高等女学校

小中学校、各警察 読み解くのは無理と諦め た。亀岡邸は国重文に登

いる。

ほか各 か各郡

福島支部、安達郡役所ほ

ディスプレイ上で見にく

したのだが、パソコンの

会図書館のWeb閲覧を

される木造大型施設は高

「生ひ立ち之記」を国

の記述は無いという。こ が、このなかにも亀岡邸 立ち之記」を著している

く、さらに旧カナ使いを

ら県議事堂、日赤

役所、金透小学校

42歳の時に岡山県に転出 だが、その間際に 師(氏名不詳調査中)が 正元)の館の設計は本県 最初の県会議事堂設計技 設計している。』とあり、

る。

歴史博物館(東側増築 そして大日本武徳 いれば、本県に現存 学校校舎調査報告 ことなのだ。 の設計も手掛けた 一築物は郡山市安積 が評価される端緒 た岡山県高梁市立 とされたそうだ。 ることの蓋然性が高い。」 県議事堂写真や岡山県の は唯一の建築技師であっ 異動した岡山県庁内で

徴を以て江川三郎八であ 江川式建築デザインの特 屋根には屋根飾りを配 する特徴は「マンサード れば、江川式建築の共通 学校校舎調査報告書によ

価顕彰されているのであ 年まで設計者不明とされ 掘調査の努力によって評 山県の関係者の地道な発 ていたものであるが、岡 これらの江川作品は近 岡山県高梁市立吹屋小 ーチも『江川式』の特徴

学校資料館(備前市)は 行ったとされる。国重要 著名で「江川式建築」と 文化財の旧遷喬尋常小学 施設や個人住宅の設計も 校校舎(真庭市)や閑谷 な建築



島大林区署、須賀川橋 (左上から) 伊佐須美神社、

(右上から)坂下警察署、信夫橋、 福

## 文化財として保存されて く評価され、ほかにも国 重要文化財あるいは登録

## である」としており、ま 庁舎や国登録文化財とな った旧県立相馬中学校講

スの組み込みが特徴的で 関わった経験によるトラ 館など大スパンの架構に さに本県の亀岡邸にも共 通する特徴である。 は、本県での橋梁設計に ほかにも、講堂や体育 にスポットを当てるの は亡き建築家とその作品 に関わった内田英吉など 堂の設計に関わった近藤 東北電力福島支店の設計 部の人しか知らない今 福島県歴史的建造物 会津若松市役所や

ている。

江川三郎八研究会が作成

なお、関心のある方は

たパンフレット「福息

寄せいただきたいと思っ

造物(橋梁も)などをお

図面、江川らしき建

発掘するため、江川三郎

八に関する人物情報、

中心に左右対称、外観は

し、ファサードは玄関を

下見板張りと竪羽目を基

ある。 くなったが、本題はここ で、前置きがかなり長 うか。 建築関係者の役割ではな 保全活用促進協議会始め いかと考えるが如何だろ

活用促進協議会などの以

郎八と江川式建築」を 県・岡山県技師

福島県歴史的建造物保全

などには面取りを施すな 付けている。筋交いや柱 ど、仕上がりへの強いこ て大高正人、遠藤新は著 からである。 本県出身の建築家とし

だわりが感じられる。玄 名であるが、この江川三 関に飾られた方杖状のア 郎八、そして福島県庁本

された本県の江川建築を 建築物の設計者が不明と そこで、前述のように なので、ご覧いただきた い。 Pにバナーを設ける予定